

## 川崎市の巻

くまざまなかたちの協働



南北に細長い川崎市は、多摩川の恵みを受け発展してきました。昭和四十七年に政令市に指定され、南部は京浜工業地帯の中核として、北西部は東京のベッドタウンとして今も人口増加が続きます。

必要なサービスを住民自らがつくる

多摩区・Mam's TIME

多摩区で実施されている保育つきの講座「Mam's TIME（ママズタイム）」は、乳幼児を子育て中の母親たちが自ら企画・運営しています。アロマテラピーやフラダンス等多彩な内容は、毎回抽選になるほどの人気です。

平成十四年、子育て支援サークルとともにママズタイムを立ち上げた多摩区社協の職員は、「子育てに忙しいお母さんが自分を振り返る時間を持つことで、母親としての気づき

や成長につながるのでは、との思いで企画しました」と話します。

初めは参加者側だったというママズタイム運営委員会のメンバーは、「自分の子と同じくらいの子を持つ方がいきいきと活動している姿を見て、自分も何か役に立ちたい」と思い、運営に携わるようになりました。「子育ての合間に事務を行うのは大変」ですが、「お母さん方の喜ぶ顔を見ると達成感があるので続けられる」と前向きです。

ママズタイムの保育を担当するボランティアグループ「ぽけっと」は、区社協の養成講座を経て結成されました。メンバーの小林美智子さんは、「以前、ボランティアの方に子どもへの面倒を見てもらったことがあり、お返しをしたい」と活動をつづけています。今や区社協の子育て支援事業全体を支えるパートナーとして「ぽけっと」は欠かせない存在になっています。

区社協では、「保育つき講座へのニーズは高く、運営委員会への支援や保育ボランティアの養成など担い手の一層の充実をめざしたい」と、住民の持つ力を丁寧な育てています。

地域で暮らす利用者のために

中原区・白楊園と西加瀬町内会

社会福祉法人育桜福祉会・白楊園は、知的障害者通所授産施設として昭和六十一年に開所しました。開所当初から地元西加瀬町内会の会員となり、二十年以上も互いの行事を協力しながら取り組んでいます。

町内会の会長である横田昭次郎さんは、「町内会の事業計画にも白楊園への協力と参加をしっかりと記載しています。夏祭りは土日で園がお休みなので、利用者のみなさんには金曜日にお神輿を担いでもらっているんですよ」と、園が地域の行事に参加できるよう気配りをしています。

園のサービス管理責任者である佐野良さんは、「施設職員は異動等で変わりますが、地域と利用者の関係は変わりません。町内会の方々が園のことを地域社会の一員として自然に受け入れてくれるのは何よりの財産」と話します。このように地元町内会と強い絆で結ばれている一方、園の周辺エリアには新たな住民の転入も増えています。「住民の方から園に対してご意見をいただいた時

面積：142.70平方km

人口：1,371,629人（2007年11月現在）

高齢化率：15.6%

施設数：高齢者福祉施設等166

（特養・老健・グループホーム・デイサービスセンター等）

障害者福祉施設等183

（更生施設・授産施設・支援施設・地域作業所等）

保育所120、乳児院1、母子生活支援施設1、

児童養護施設2、障害児施設等（入所・通園施設）4